

第14回青森ねぶた祭検討特別委員会会議概要

日 時 平成19年2月1日(水) 12時30分～14時50分

場 所 ラ・プラス青い森 4F ル・シエル

出席委員 蝦名委員長、佐藤副委員長、對馬委員、若井委員、千葉委員、柳谷委員、奈良委員、澤田委員、采田委員

事務局 市平田課長、会議所道川部長、協会櫻田専務、山田事務局長

欠席委員 武田委員、勝又委員、太田委員

オブザーバー 櫛引運行団体事務局長

○委員長挨拶

○会議概要

①前回の議事概要について

事務局より前回の会議概要を説明し、内容を確認した。

②検討特別委員会まとめ(中間報告について)

事務局より資料に基づき説明し、下記意見を頂いた。

保存会について

- ・保存会は1年に年に1回の開催とし、何か問題があったらその都度開催した方が良い。

審査方法について

- ・団体としては、「一斉スタート・一斉解散方式」で運行している間は、現状の運行ルールを踏まえた運行・跳人の審査内容にして欲しい。また、減点規定を導入する際は今関係団体で協議中の新しい運行ルールを審査結果に反映させて欲しい。
- ・運行ルールのチェックは奨励委員では困難なので、実行委員会で行い奨励委員の審査結果に反映させるべき。

↓

運行跳人のチェック機能を審査方法へどの様に反映させるか検討する

ハネト対策について

- ・昔の映像を使用したマスコミの過剰なカラスハネト報道は本社に自粛要請をするべき。

賞について

- ・総合賞は団体へ与えるものと言いながら表彰式に総合賞の盾を団体と制作者の両方に授与している。総合賞の盾を制作者に授与しているのはおかしい。
- ・分離(総合賞は団体のみ授与)することによって最優秀制作者賞のステイタスが上がるのではないか。
- ・最優秀制作者賞を3つ設ければいいのではないか。(優秀制作者賞2つ)
1位～3位に同じ制作者がいた場合、次点の制作者になるか。重複受賞か。

↓

次回会議にて継続協議する

実行委員会について

- ・奨励委員会が二分化されるのはいつからか。
- ・今年から話しはするが、実際に二分化されるのはねぶた終了後になる。
(審査内容については今年のねぶたから反映させる)

運行時間について

- ・青少年問題は現在特に問題ない。
- ・団体としては10分～15分延長して欲しい。
- ・今は協賛企業を満足させるような見せ方が出来ないので、余裕のある運行をしたい。
- ・5日・6日だけの時間延長でも良いのではないか。

↓

ゆとりあるねぶた運行とするため、運行時間を15分～20分延長することを要望していく

③市民観光客の受入対応について

事務局より資料説明。次回の会議で内容を協議する。

④次回委員会開催について

日時 平成19年2月26日(月) 15時00分～17時00分

案件 祭りの賑わいづくりについて

市民観光客の受入対応について

以上